

世界トライアスロン選手権ゴールドコースト 2018
(オーストラリア・ゴールドコースト)
報 告

日 時：2018 年 9 月 16 日（日）

スタート：7 時 28 分

参加者数：約 150 人

距 離：オリンピックディスタンス＝スイム 1.5km・バイク 40km・ラン 10km

結 果：19 位

記 録：2 時間 06 分 27 秒

スイム 21:47 (-) バイク 1:04:02 (-) ラン 36:17 (-)

※ () 種目別順位

思えば 1 月 15 日の手術、そして入院 1 か月で全治 8 か月と宣告を受けてこの日を迎えることが陰しい状況からスタートは切られました。8 か月後に治ったとしても、競技者としてスタートラインには立てない。どの段階でレースへ復帰でき、練習が積めるのかが分からなかった。大袈裟かもしれないが奇跡の復活劇を歩んできました。

医療従事者である妻が、そばでびっくりしているのはこの状況が事実として起こっているからでしょうか。

私が不死鳥のごとくよみがえるとよく表現されるが、振り返れば子供のころから栄養士の母、高校時代から祖母が与えてくれた万田酵素（現在は完全サポート）、トライアスロンで世界を目指しだしてのメダリスト製品、ピンクイオン製品でこの体は医療界の常識を覆す復活力、体力（からだりよく）を作ってくれていることを痛感しています。

今回レース中に思いました。今があるのは一番最初にサポートにつけてくれたアトム（今現在も）、そしてメカニックで ANDEX 高橋要一氏や、体のメンテナンスで菅先生、新屋先生、そして蒲田先生。

大切に思ってくれながら物心両面を支援してくれるサポーターやスポンサーの方々のおかげ。

そして妻の懸命な支えだと・・・

終了後にレース会場から帰る道ので、また飛行機の中で次々と皆様の顔が駆け巡りました。

今回 19 位でした。

10 年以上前に 5 位 2 回、6 位になった時こんなに頑張ってもここまでなのかと、不満になる場面もあった。

しかし今回は順位よりも、これから皆様の顔を思い浮かべながら、もっと魅力ある競技者となり、応援したいと思う人になっていきたい・・・今更かもしれませんが、本気でそれを想うように感じさせてくれた世界大会でした。

まだまだこれから！

感謝

トライアスリート福元哲郎





